

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター こども療育研究室 Lulu North&Side (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	他職種連携による支援の提供	5領域に基づいた活動の立案と実施を行っています。	こどもたちが、より興味を持って楽しく取り組めるように、スタッフ一人一人がアンテナを張って情報収集に努めます。
2	セラピストによる専門的支援の提供	専門的な視点を踏まえた活動の立案と実施を行っています。	セラピスト間での情報共有を図り、子どもたち一人一人に沿った専門的支援が提供できるように努めていきます。
3	他の児童発達支援センターを含む、他事業所との連携	定期開催される部会や研修会への参加を積極的に行っています。	他事業所との交流を深め、自事業所でも出来る取り組みを継続的に学んで行きたいと思えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報の共有	ご利用の人数に対しての情報管理の仕組みが整っていない。	より円滑でスムーズなやり取りが出来るように、SNSの利用管理など仕組みを整えていきたい。
2	保護者の交流会やイベントの実施が不十分	通所事業運営がメインとなっている為、イベント開催を企画運営する人員が不足している。	人員の確保に努めたい。 イベント開催にあたっての情報収集を行っていく。
3	地域との交流が不十分	地域交流に向けた仕組みなど、知識・経験が不十分。	基幹相談支援センターや他事業所との連携を図り、地域交流に向けた情報収集を行っていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援センター こども療育研究室 Lulu North & Side (放課後等デイサービス)				公表日	2025年 3月 10日		
		利用児童数				42	回収数		27
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	0	0	0	特記無し		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	3	1	0	特記無し	こども達のサポートが行き届くように、安全管理上必要な人員の確保に努めていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	1	1	0	特記無し	子どもたちが過ごしやすい環境になるように継続して整備を行っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	0	0	0	特記無し		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	3	0	0	特記無し	職員全体で子どもたちの特性について学びを深め、サポートできる体制を作っていきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	5	0	0	特記無し		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	2	1	0	特記無し	日々のやり取りなどを通し、ニーズに沿った支援計画の立案に努めていきます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	6	0	0	特記無し		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	4	0	0	特記無し		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1	1	0	特記無し	年間を通しての活動プログラムを計画し、固定化されないよう工夫していきます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	12	8	0	特記無し	地域との交流の場を設けられるように、他機関と連携を図っていきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	4	0	0	特記無し		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	4	1	0	特記無し		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	7	7	0	特記無し	今後、家族支援プログラムなどの機会が設けられるように検討していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22	4	1	0	特記無し	情報共有の方法について、工夫を図りながらスムーズなやり取りが出来るように検討していきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	8	2	0	特記無し	定期面談の機会や子育て支援が行えるように検討していきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	5	0	0	特記無し		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	4	10	12	0	特記無し	保護者の交流会や、きょうだいに向けたイベント開催を検討していきます。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	7	3	0	特記無し	相談窓口の体制について、わかりやすく周知していきます。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	4	2	0	特記無し	情報共有の方法について、工夫を図りながらスムーズなやり取りが出来るように検討していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	6	1	0	特記無し	広報紙の内容を充実させていくとともに、ホームページやSNSツールを使った発信の工夫を検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	2	0	0	特記無し	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	4	2	0	特記無し	保護者に分かりやすく周知・説明出来るように努めます。定期的な避難訓練は継続して行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	2	0	0	特記無し	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	3	0	0	特記無し	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	6	0	0	特記無し	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	2	0	0	特記無し	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	3	2	0	特記無し	苦手なことなど、一緒に乗り越えていけるようにサポートしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	4	0	0	特記無し	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター こども療育研究室 Lulu North & Side (放課後等デイサービス)			公表日		2025年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1		必要物品の選定、整理整頓		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1	状況に応じたスタッフ配置	人員配置、対応の工夫		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1		構造上の問題もあるため、環境面の配慮は引き続き検討		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0				
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	1	昼礼時の振り返り 連絡帳を使用した情報伝達			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	3	保護者向け評価表の結果提示	周知が弱いので、スタッフ全体に向けた好評の場を設け、改善点について共有する		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	面談の実施	定期的な面談に至っていないので、年間スケジュールとして組み込んでいきたい。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	1	第三者評価未実施			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0				
適切 な 支 援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	2		スタッフ間での支援プログラムの情報共有の工夫		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	2	SNSなどを活用し、ニーズを把握できるように工夫している。	よりニーズが把握できるように、信頼関係を築いていく		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1		スタッフ間での情報共有の工夫		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1		スタッフ間での支援プログラムの情報共有の工夫		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2	アセスメントシートを用いた情報収集	職員一人一人がアセスメントシートからの情報収集に努めるように促す		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	2		目標設定や支援の方法など、より具体的に設定する様に努める		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	年間の立案計画をチームで実施	立案に向けたミーティングの時間の捻出		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	2	必要に応じて個別対応を実施している	人員の確保、活動運営の工夫
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	2	活動内容を事前に共有	日々のチーム連携についての改善
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	2	昼礼時の振り返りを実施。連絡帳などを用いた情報共有	職員一人一人が情報収集に努めるように促す
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	1	昼礼時の振り返りを実施。連絡帳などを用いた情報共有	職員一人一人が情報収集に努めるように促す
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1	年間スケジュールを立てて、定期モニタリングを実施。	関連機関への情報発信をさらに高めていく必要あり
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	10	1	月間の活動内容に、4つの基本活動を盛り込むようにしている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	1	活動内容のレベル分けなど工夫を行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1		事前の情報収集の強化
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	2	関係機関との連携を整えている	職員全体で地域と連携できるように、組織体制を整えたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	2	時間割や行事などの情報収集 送迎時の対応注意点などの連携体制	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	2	必要に応じて移行支援シートを用いて情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	6	移行支援会議への参加、情報提供書の提出	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	4	センター連絡会や部会などに参加し、連携を図ったり助言を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	8		地域との交流会検討
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	4	管理者・児発管が積極的に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	5		家族支援プログラム開催の検討
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	1		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	9		保護者交流会の検討
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1	月ごとの活動予定の発信 定期的な広報誌の発行	HPやSNSの活用工夫
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	5		地域交流の検討
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	1	アセスメントシートを用いた情報収集を行っている	職員一人一人がアセスメントシートからの情報収集に努めるように促す
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0			